

経過 月日	手術当日 月 日	手術後1日目 月 日	手術後2日目～ICU退室 月 日 ~ 月 日
到達目標	精神的に落ち着き、安静を保持することができる	酸素飽和度が安定し、排痰することができる ベッド上で背もたれを使用し、座ることができる	ベッドから足をおろして座ることができる 自分で立つことができる
治療 処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首と両手に点滴が入ります。必要に応じて、血液製剤や輸血を行います</li> <li>・点滴から、血圧を上げる薬、心臓の動きを助ける薬、抗生剤、胃薬、痰を出しやすくする薬などを使います</li> <li>・胸の中に血液がたまらないように管が2-3本入り、機械で持続的に吸引します</li> <li>・心電図などたくさんのかいどが体に付きます</li> <li>・心臓の動きを補助するためにペースメーカーが付きます</li> <li>・口からチューブが入り、呼吸器で呼吸を助けます。そのため、声がでません</li> <li>・自分で痰を出せないため、管を使って痰の吸引をします</li> <li>・吐き気を予防するために鼻から胃までチューブが入ります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸が安定したら、口のチューブを抜いて、酸素の吸入をします</li> <li>・痰を出すために、吸入をしたり、深呼吸や上肢拳上運動を行います</li> <li>・鼻のチューブを抜きます</li> <li>・お水が飲めるようになれば内服が始まります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事が入るようになれば首に入っている点滴を抜きます 手の点滴はしばらく続きます。</li> <li>・胸の管からの排液量が減少してきたら、管を抜きます</li> </ul>
手術	□無 ・□有 (術式: )		
全身管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心電図モニターを常時装着し、不整脈などの確認をします</li> <li>・頻回に血圧を測ったり、体の観察をします</li> <li>・尿量を定期的に測定します</li> <li>・体温に合わせて、電気毛布を使用し体を温めます</li> <li>・痛みがあれば、痛みどめを使います</li> <li>・リフト式の体重計で体を浮かせて体重を測ります</li> <li>・深部静脈血栓予防のために弾性ストッキングを履きます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> <li>・立って体重計で体重を毎日測ります</li> </ul> 
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液や心電図の検査をします</li> <li>・時間毎に血糖値を測ります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> <li>・レントゲン検査をします</li> <li>・食事開始後は食前・眠前に血糖値を測ります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> </ul>
活動・安静	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お薬を使って眠ってもらい、臥床安静となります</li> <li>・血圧等が安定したら、徐々にベッドの背もたれを起します</li> <li>・床ずれ予防と痰がでやすくなるように、看護師が時間毎に体の向きを変えます</li> <li>・足の屈伸運動や上肢の拳上運動を行います</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧などが安定していれば、ベッドの背もたれを少しずつ起こし、しっかり座ります</li> <li>・呼吸器が外れたらベッドから足を下して座る練習をします</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド上では自由に動けます</li> <li>・ベッドから足をおろして座る練習をします</li> <li>・ベッドサイドで立つ練習や足踏みをします</li> <li>・立位が安定していればICU内を歩く練習をします</li> </ul> 
食事 栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べたり飲んだりはできません</li> <li>・点滴で水分や栄養を補給します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口のチューブが抜けてしばらくしたらお水が飲めます (飲水量には制限がある場合があります)</li> <li>・夕方から食事が始まります(三分粥から1日あがり)</li> </ul> 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師が洗面介助をします</li> <li>・看護師が口腔ケアを行います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師が体を拭きます</li> <li>・食事の前に手浴をします</li> <li>・歯磨きをします</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿道カテーテルが挿入されており、自然に尿がでます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左に同じです</li> <li>・排便はオムツ又は差し込み便器使用となります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医の許可がでたら尿道カテーテルを抜きます</li> <li>・座位が安定していれば、ポータブルトイレを使用します</li> </ul>
患者・家族 への説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医が手術後に病状説明を行います</li> <li>・面会ができます</li> <li>・大事なチューブがたくさんあるので抜いてしまわないように注意しましょう</li> <li>・治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術後は痰がたまりやすいので、しっかりと痰をだすようにしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態に合わせて動く範囲を どんどん広げていきましょう</li> </ul> 

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名